

普通科1年「数学ⅠA」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数

2 単元の目標

- ・数を実数まで拡張する意義を理解できるようになる。
- ・式を多面的にみて処理できるようになる。

3 評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解
②展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	④数式を適切な形に整理することによって因数分解や計算ができる。 ⑦実数を数直線上の点としてとらえることができる。	③因数分解を行うのに、文字の置き換えを利用することができる。 ⑥循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表すことができる。	①因数分解の公式を利用することができる。 ⑤有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 ⑧絶対値の意味と記号表示を理解している。 ⑨平方根の意味性質を理解している。 ⑩根号を含む式の計算ができる。また、分母の有理化ができる。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/11	因数分解	1	プリント①を学習する	登校日にプリントの回収	①②④
②5/13	因数分解	2	・NHK高校講座第9回「因数分解をもっと知る」を見て、たすき掛けの因数分解について学習する。 ・教科書P18 例題5・応用例題1の解答をノートに写す。	単元終了後にノートを回収してチェック	①②③④
		3	・教科書P18 練習23・練習24をノートに解く。 ・プリント②を学習する。 ・Formsの確認テストを解く。	・単元終了後ノートの回収 ・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	①②③④
③5/18	実数	4	・授業動画視聴 ・板書写真をノートに写す	単元終了後にノートを回収してチェック	⑤⑥
		5	・プリント③を解く ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑤⑥
④5/20	数直線と絶対値	6	・授業動画視聴 ・板書写真をノートに写す	単元終了後にノートを回収してチェック	⑦⑧
		7	・プリント④を解く ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑦⑧
⑤5/25	根号を含む式の計算①	8	・授業動画視聴 ・板書写真をノートに写す	単元終了後にノートを回収してチェック	⑨⑩
		9	・プリント⑤を解く ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑨⑩
⑥5/27	根号を含む式の計算② 分母の有理化	10	・授業動画視聴 ・板書写真をノートに写す	単元終了後にノートを回収してチェック	⑨⑩
		11	・プリント⑥を解く ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑨⑩

商業科1年「数学Ⅰ」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算

1 整式の加法と減法 2 整式の乗法 3 因数分解

2 単元の目標

整式の基本的な性質を理解するとともに、乗法公式や因数分解の公式を活用して、目的に応じて式変形したり、見通しをもって式を扱ったりすることができるようにする。

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① 数学的な用語を正しく理解して活用しようとする。	④ 単項式や多項式について、数学的な考察ができる。	⑦ 整式に関する用語を理解し、それらを正しく処理することができる。	⑩ 多項式について、正しく整理することができ、それらを活用できる。
② 多項式の加法・減法と乗法について正しく計算しようとする。	⑤ 1つの文字に着目したり、1つの文字に置き換えたりするなどして、色々な式の見方をすることができる。	⑧ 乗法公式などを用いて、式を目的に応じて変形することができる。	⑪ 乗法公式の意味を理解し、それらを活用できる。
③ 因数分解に関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。	⑥ 目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。	⑨ 因数分解などを用いて、式を目的に応じて変形することができる。	⑫ 因数分解の意味を理解し、それらを活用することができる。複雑な式が簡単な式に帰着して因数分解できる。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/13	整式の加法と減法	1	・NHK高校講座「整式」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント①を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①④⑦⑩
		2	・教科書を参考にプリント②を完成する。 ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
②5/20	整式の乗法	3	・NHK高校講座「整式の加法と減法」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント③を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	②⑤⑧⑪
		4	・NHK高校講座「整式の乗法」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント④を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
③5/27	因数分解	5	・NHK高校講座「乗法公式」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑤を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	③⑥⑨⑫
		6	・NHK高校講座「乗法公式をもっと知る」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑥を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	

1 年生物生産・食品科学科「数学Ⅰ」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

第1章 数と式 第1節 式の計算

2 単元の目標

- ・「数式の計算力」などの数学を学ぶための基礎力
- ・「物事を論理的に筋道を立てて考える力」、「基礎的な操作を通じて様々な問題を解く力」など問題解決力

3 評価規準

①関心・意欲・態度	②数学的な見方・考え方	③数学的な技能	④知識・理解
プリントや確認テストに積極的に取り組んでいる	整式を整理し、その式がどのような式か説明できる	様々な公式や法則を用い、計算をすることができる	整式の加法・減法・乗法ができる

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価 規準
第1回	整式の加法と減法 (教科書P6～9)	1	教科書P6、板書画像、熊本県立教育センターの動画「①単項式と多項式」を参考に授業プリントに取り組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①
		2	教科書P7～8、板書画像、熊本県立教育センターの動画「②整式の整理」を参考に授業プリントに取り組む	プリントの状況 確認テスト	②③
第2回		3	教科書P9、板書画像、熊本県立教育センターの動画「③整式の加法と減法」を参考に授業プリントに取り組む	出欠状況 確認テスト	①②
	整式の乗法 (教科書P10～14)	4	教科書P10～11、板書画像、熊本県立教育センターの動画「④単項式の乗法」「⑤多項式の乗法」を参考に授業プリントに取り組む	プリントの状況 確認テスト	③④
5		教科書P12～13、板書画像、熊本県立教育センターの動画「⑥展開の公式」を参考に授業プリントに取り組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①③	
第3回		6	教科書P13～14、板書画像、熊本県立教育センターの動画「式の展開の工夫(計3本)」を参考に授業プリントに取り組む	プリントの状況 確認テスト	④

生活科学科1年「数学Ⅰ」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式の計算

1 整式の加法と減法 2 整式の乗法 3 因数分解

2 単元の目標

整式の基本的な性質を理解するとともに、乗法公式や因数分解の公式を活用して、目的に応じて式変形したり、見通しをもって式を扱ったりすることができるようにする。

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① 数学的な用語を正しく理解して活用しようとする。	④ 単項式や多項式について、数学的な考察ができる。	⑦ 整式に関する用語を理解し、それらを正しく処理することができる。	⑩ 多項式について、正しく整理することができ、それらを活用できる。
② 多項式の加法・減法と乗法について正しく計算しようとする。	⑤ 1つの文字に着目したり、1つの文字に置き換えたりするなどして、色々な式の見方をすることができる。	⑧ 乗法公式などを用いて、式を目的に応じて変形することができる。	⑪ 乗法公式の意味を理解し、それらを活用できる。
③ 因数分解に関心を持ち、目的に応じて式の変形をしようとする。	⑥ 目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。	⑨ 因数分解などを用いて、式を目的に応じて変形することができる。	⑫ 因数分解の意味を理解し、それらを活用することができる。複雑な式が簡単な式に帰着して因数分解できる。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/13	整式の加法と減法	1	・NHK高校講座「整式」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント①を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①④⑦⑩
		2	・教科書を参考にプリント②を完成する。 ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
②5/20	整式の乗法	3	・NHK高校講座「整式の加法と減法」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント③を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	②⑤⑧⑪
		4	・NHK高校講座「整式の乗法」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント④を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
③5/27	因数分解	5	・NHK高校講座「乗法公式」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑤を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	③⑥⑨⑫
		6	・NHK高校講座「乗法公式をもっと知る」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑥を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	

普通科2年「数学」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

第1章 式と証明 第1節 整式の乗法・除法

1. 整式の乗法 2. 2項定理 3. 整式の除法 4. 分数式とその計算

2 単元の目標

いろいろな式に関心を持ち、事象の考察に式の展開や因数分解を活用する。

事象の考察にいろいろな式を活用し、多面的に考えることで、数学的な見方や考え方を身に付ける。

いろいろな式に関する基本的な概念・原理を習得する。

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① 因数分解の模範に展開を利用しようとする。	④ 整式の割り算を筆算と判断できる。	⑦ 割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。	⑩ 3次式の展開および因数分解の公式を利用することができる。
② 整式の割り算に興味を示し、具体的な問題に取り組もうとする。	⑤ 整式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。	⑧ 二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。	⑪ 整式の割り算の計算方法を理解している。
③ 分数式を分数と同じように約分、通分できることに意欲を示す。	⑥ 二項定理をパスカルの三角形と結びつけて考えることができる。	⑨ 分数式の四則計算ができる。	⑫ 分数式の約分・通分ができる。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/13	3次の乗法公式と因数分解(1)	1	・NHK高校講座「3次の乗法公式と因数分解(1)」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント①を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①⑩
		2	・NHK高校講座「3次の乗法公式と因数分解(2)」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント②を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
②5/18	3次の乗法公式と因数分解(2)	3	・教科書を参考にプリント③を完成する。 ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①⑩
		4	・教科書を参考にプリント④を解く。 ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
③5/20	二項定理	5	・NHK高校講座「二項定理」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑤を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	⑥⑧
		6	・教科書を参考にプリント⑥を解く。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
④5/25	分数式とその計算(1)乗法と除法	7	・NHK高校講座「分数式とその計算(1)乗法と除法」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑦を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	②④⑤⑦⑪
		8	・教科書を参考にプリント⑧を解く。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
⑤5/27	分数式とその計算(2)加法と減法	9	・NHK高校講座「分数式とその計算(2)加法と減法」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑨を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	③⑨⑫
		10	・教科書を参考にプリント⑩を解く。	・プリント ・Formsによる確認テスト	

普通科2年「数学活用」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

1章 身の回りの数学 1節 いろいろな場合の数

① 試合数は全部でいくつあるか ② 樹形図で考えよう

2 単元の目標

- ・トーナメント戦とリーグ戦についてそれぞれの総試合数が求められるようにする。
- ・樹形図を理解させ、いろいろな場合の数が求められるようにする。

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① トーナメントとリーグ戦に関心を持ちそれぞれの特徴を積極的に探求しようとする。	③ トーナメントとリーグ戦の違いについて理解することができる。	⑤ リーグ戦の総試合数を求める問題について、いろいろな解法を考え、発表することができる。	⑦ トーナメントとリーグ戦の総試合数を求めることができる。
② 樹形図を積極的に利用して、いろいろな問題を解こうとする。	④ 樹形図を利用して、道順の取り方の総数が求められる。	⑥ いろいろな問題について、樹形図をかく問題で処理することができる。	⑧ 樹形図を通して、番号のつけ方のしくみが理解できる。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/13	いろいろな場合の数	1	・教科書を参考にプリント①を解く。 ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①②③④⑤ ⑥⑦⑧
		2	・教科書を参考にプリント②を解く。 ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	

1 単元

数学Ⅰ 第3章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比 第2節 鈍角の三角比

2 単元の目標

・鈍角の三角比を定義する

3 評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解
①鈍角の三角比を考えることに関心を持ち、鋭角の三角比との関係について考察しようとする。	②座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができる。	③鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。 ④三角比の相互関係を用いて、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。	⑤鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。 ⑥三角比の相互関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ⑦ $90^\circ - \theta$ 、 $180^\circ - \theta$ の三角比を θ の三角比で表す方法を身に付けている。

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/13	90° - θ の三角比 教科書P103~104	1	・NHK高校講座 第26回「三角比の相互関係」視聴する。 ・教科書を参考にプリント①を完成させる。	登校日にプリントの回収	⑦
		2	・教科書P104 問5をプリント①に書き、解答で丸付けをする。 ・教科書P104確認問題①②③をプリント①に解く。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑦
②5/20	鈍角の三角比 教科書P105~108	3	・NHK高校講座 第30回「三角比と座標」視聴する。 ・教科書を参考にプリント②を完成させる	・登校日にプリントの回収	①②③⑤
		4	・教科書P106~107問6問7をプリント②に書き解答で丸付けをする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	①②③⑤
③5/27	鈍角の三角比相互関係 P110~111	5	・教科書P111の例9例題6をプリント③に写す。 ・問9と練習6をプリント③に解く。	・登校日にプリントの回収	④
		6	・P114確認問題②をプリント③に書いて丸付けをする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	④

生物生産科・食品科学科2年「数学Ⅰ」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

数学Ⅰ 第2章 2次関数 第2節 2次関数の最大・最小 第3節 2次関数と方程式・不等式

2 単元の目標

- ・2次関数のグラフを利用して、2次関数の最大値、最小値を求める。
- ・定義域を制限した場合の最大値、最小値の求め方を考察する。

3 評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解
①2次関数の値の変化の様子についてグラフを用いて考察しようとする。 ⑥2次方程式の解の公式に関心を持ち、これを活用しようとする。	②2次関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察できる。 ⑦2次方程式の実数解の個数を2次方程式の解の公式を求める過程から考察することができる。	③2次関数のグラフや式を用いて、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ④定義域が制限されたときの2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ⑧解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。	⑤2次関数の最大値、最小値とその求め方について理解し、基本的な知識を身に付けている。 ⑨解の公式についての基本的な知識を身に付けている。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
05/13	2次関数の最大・最小 教科書P69～71	1	・NHK高校講座 第20回「第2章 2次関数 2次関数の最大値・最小値」視聴する。 ・教科書を参考にプリント①を完成させる。	登校日にプリントの回収	①②③④
		2	・教科書P70～71 問9練習6練習7をプリント①に書き、解答で丸付けをする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	①②③④⑤
05/20	2次方程式・解の公式	3	・NHK高校講座第16回「2次方程式の解の公式」視聴する。 ・教科書を参考にプリント②を完成させる	・登校日にプリントの回収	⑥⑦⑧⑨
		4	・教科書P74～75問10 問11をプリント②に書き解答で丸付けをする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑥⑦⑧⑨
05/27	2次方程式・解の公式	5	・プリント③を解いて丸付けをする。	・登校日にプリントの回収	⑥⑦⑧⑨
		6	・プリント④を解いて丸付けをする。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑥⑦⑧⑨

3年普通科「数学Ⅱ」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数と指数関数
第2節 対数と対数関数

2 単元の目標

- ・「数式の計算力」、「図や表を利用する力」など数学を学ぶための基礎力
- ・「場合に分けて考える力」、「物事を論理的に筋道を立てて考える力」など問題解決力
- ・「基礎的な操作を通じて様々な問題を解く」、「関数をグラフや表で表現する」など数学的な表現力

3 評価規準

①関心・意欲・態度	②数学的な見方・考え方	③数学的な技能	④知識・理解
プリントや確認テストに積極的に取り組んでいる	指数関数のグラフとその性質・指数と対数の関係性を理解している	指数・対数に関する公式を用いることができる	指数や対数の知識を用いる計算ができる

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価 規準
第1回	指数関数 (教科書P143~147)	1	教科書P143~144、 板書画像、NHK高校講 座の動画「指数関数と そのグラフ(1)」を参考 に授業プリントに取り 組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①③
		2		プリントの状況 確認テスト	②④
第2回		3	教科書P145~146、 板書画像、NHK高校講 座の動画「指数関数と そのグラフ(2)」を参考 に授業プリントに取り 組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①②
		4		プリントの状況 確認テスト	③④
第3回		5	教科書P146~147、 板書画像、これまでの プリントや動画を参考 に授業プリントに取り 組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①③
		6		プリントの状況 確認テスト	④
第4回	対数 (教科書P148~152)	7	教科書P148~149、 板書画像、NHK高校講 座の動画「対数(1)」 「対数(2)」を参考に授 業プリントに取り組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①②
		8		プリントの状況 確認テスト	③
第5回		9	教科書P150~151、 板書画像、NHK高校講 座の動画「対数の性質 (1)」「対数の性質 (2)」を参考に授業プリ ントに取り組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①③
		10		プリントの状況 確認テスト	③④
第6回		11	教科書P152、160、 板書画像、NHK高校講 座の動画「対数(2)」、 これまでのプリントを 参考に授業プリントに 取り組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①③
		12		プリントの状況 確認テスト	④

商業科3年「数学A」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 順列

2 単元の目標

場合の数の意味を理解し、和の法則・積の法則を利用して、能率的に場合の数を求められるようにします。
順列の意味と、その総数を求めることを理解します。具体的な場面に順列の考え方を適用して、階乗や公式を用いた場合の数の表し方を理解します。円順列、重複順列の意味と、その総数の求め方を理解します。

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① 起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることに関心を持ち、調べようとする。	③ 和の法則、積の法則が場合の数を数えるときの元になっていることに気づくことができる。	⑤ 起こりうる場合の数をもれなく重複なく数えることができる。	⑦ 和の法則、積の法則を利用して場合の数を求めることができる。
② 場合の数を効率よく正確に数えるために、順列の考えを活用しようとする。	④ 場合の数を数えるに当たって、順序を考えるか否かに気づくことができる。	⑥ 起こりうる場合を整理し、順列の考えや公式を用いて、場合の数を正確に求めることができる。	⑧ 順列の考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めるための基礎的な力を身につけている。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/13	場合の数(和の法則、積の法則)	1	・教科書を参考にプリント①を解く。 ・F ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①③⑤⑦
		2	・教科書を参考にプリント②を解く。 ・F ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
②5/20	順列(記号、応用問題) 整式の乗法	3	・教科書を参考にプリント③を解く。 ・F ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	②④⑥⑧
		4	・教科書を参考にプリント④を解く。 ・F ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
③5/27	いろいろな順列(円順列、重複順列)	5	・教科書を参考にプリント⑤を解く。 ・F ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①④⑤⑦
		6	・教科書を参考にプリント⑥を解く。 ・F ・Formsを使った解説。	・プリント ・Formsによる確認テスト	

生物生産科3年「数学Ⅰ」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析

2. データにおける代表値 3. 範囲と四分位範囲 4. 分散と標準偏差

2 単元の目標

データに関する基本的な用語・記号を理解します。統計の基本的な考えを理解するとともに、それらを用いてデータを整理・分析しデータの散らばりなどの傾向を把握できるようにする。(四分位偏差、分散及び標準偏差など)

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
① 観察や調査・実験を通して得られた、自然・環境・経済などの様々なデータから散らばり具合を整理して全体の傾向をつかもうとする。	② 整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。	③ データを表や図に整理することができる。 ④ 箱ひげ図を用いてデータの散らばりを表すことができる。	⑤ 代表値としての平均値、中央値、最頻値を理解している。 ⑥ 四分位数、四分位範囲、四分位偏差、分散、および標準偏差などの用語の意味を理解している。

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
①5/13	・データと度数分布 ・代表値	1	・NHK高校講座「データと度数分布」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント①を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①②③⑤
		2	・NHK高校講座「代表値」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント②を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
②5/20	散らばり具合を表す値	3	・NHK高校講座「散らばり具合を表す値」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント③を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	②④⑥
		4	・教科書を参考にプリント④を解く。	・プリント ・Formsによる確認テスト	
③5/27	分散と標準偏差	5	・NHK高校講座「分散と標準偏差」動画視聴する。 ・教科書を参考にプリント⑤を完成する。	・プリント ・Formsによる確認テスト	①②⑥
		6	・教科書を参考にプリント⑥を解く。	・プリント ・Formsによる確認テスト	

3年食品科学科「数学Ⅰ」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析

2 単元の目標

- ・「数式の計算力」、「図や表を利用する力」など数学を学ぶための基礎力
- ・「物事を論理的に筋道を立てて考える力」など問題解決力
- ・「基礎的な操作を通じて様々な問題を解く」、「データをグラフや表で表現する」など数学的な表現力

3 評価規準

①関心・意欲・態度	②数学的な見方・考え方	③数学的な技能	④知識・理解
プリントや確認テストに積極的に取り組んでいる	データから表やグラフを作成できる	表やグラフからデータを読み取れる	データにおける代表値を求めることができる

4 授業計画

※必要な行だけ追加してください。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	データの整理 (教科書P154～155)	1	教科書P154～155、板書画像、NHK高校講座の動画「データと度数分布表」を参考に授業プリントに取り組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①③
		2		プリントの状況 確認テスト	②③
第2回	データにおける代表値 (教科書P156～157)	3	教科書P156～157、板書画像、NHK高校講座の動画「代表値」を参考に授業プリントに取り組み、教科書P166確認問題を解く	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①
		4		別紙プリント 確認テスト	②③④
第3回	範囲と四分位範囲 (教科書P158～159)	5	教科書P154～155、板書画像、NHK高校講座の動画「散らばり具合を表す値」を参考に授業プリントに取り組む	出欠状況 プリントの状況 確認テスト	①
		6		プリントの状況 確認テスト	③④

食品科学科3年「数学A」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

数学A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数

2 単元の目標

- ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。

3 評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解
①集合を数学の対象として考えることに関心をもつ。	②集合の包含関係を概念と関係づけて考察することができる。	③集合をその要素の条件を使って表すことができる。	④集合についての基礎的な知識を理解し身に付けている。

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
⑤/22	場合の数 教科書P16～19	1	・板書計画を参考にノートにまとめる。 ・例7例題1例8をプリント①にまとめる。	登校日にプリントの回収	①②③④
		2	・問7練習1問8をプリント①に解き、解答で丸付けする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	①②③④

生活科学科3年「数学A」シラバス（5月分）

天草拓心高校

1 単元

数学A 第1章 場合の数と確率 第3節 確率とその基本性質 第4節 いろいろな確率

2 単元の目標

- ・余事象の確率を理解し、これを利用して確率の計算ができるようになる。
- ・独立な思考の概念を導入し、独立な試行における事象の確率が求められるようになる
- ・条件付き確率と乗法定理について理解し、これにもとづいて確率を求めることができるようにする。

3 評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解
③独立な試行があることに気づき、この試行に事象の確率を調べようとする。	④2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率を求める過程を考察することができる。	①余事象の確率を求めることができる。 ⑤2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率を求めることができる。 ⑦確率の乗法定理を用いて確率を求める具体的な問題を解決することができる。	②確率の基本性質を理解し活用する知識を身に付けている。 ⑥独立な試行について理解し、基礎的な知識を身に付けている。

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
⑤/13	余事象の確率 教科書P46～47	1	・解説動画を視聴する。 ・教科書P47 問23練習15をプリント①に書き、解答で丸付けをする。	登校日にプリントの回収	①②
		2	・教科書P48 確認問題④⑥をプリント①に書き、解答で丸付けする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	①②
⑤/20	独立な試行 教科書P49～51	3	・解説動画を視聴する。 ・教科書P50～51の例24例25例題16をプリント②に写す。	・登校日にプリントの回収	③④⑤⑥
		4	・教科書P50～51の間24問25練習16をプリント②に書き解答で丸付けをする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	③④⑤⑥
⑤/27	条件付き確率 P56～58	5	・解説動画を視聴する。 ・教科書P57～58例27例題18をプリント③に写す。	・登校日にプリントの回収	⑦
		6	・教科書P57～58問27練習18をプリント③に書いて丸付けする。 ・Formsの確認テストを解く。	・登校日にプリントの回収 ・Formsの確認テスト	⑦